

実相を觀ずる歌

(185)

一、

神はすべてのすべて、

神は完き、

神は完き、

神は完き。

すべてのものの内に、

神の生命は生くる、

神の叡智は生くる、

神の聖愛は生くる。

神はすべてにこころ、

すべてに体なれば、

よろずもの皆共通の

ちから是を生かせり。

天地の創造主は、

唯一つの神にませば、

天地はただ一つに、

いと妙に調和満ちる。

二、

吾れす妙々実相世界

吾身は金剛美相神の子

万ず大調和、

光明遍照実相世界。

神は生命にして、

吾れは神の子なれば、

吾れはすべてを生かし、

すべては吾れを生かす。

神は愛にして、

吾れは神の子なれば、

吾れはすべてを愛し。

すべては吾れをす。

神は知恵にして、

吾れは神の子なれば、

吾れはすべてを知り、

全てのもの吾れを知れり。

神はすべてにして、
吾れは神の子なれば、
吾れれば天地応え、
吾れ動けば宇宙動く。

(二)の歌の終わりの一連繰り返す)